

「Ham Radio Deluxe (HRD)」

October 6th, 2008 - Build 1989 (06:23:45)

- * この「ベータ (バージョン)」にふくまれたもの：
 - ・「新しい人工衛星追跡プログラムの「3 回目の技術プレビュー」。
 - ・「Robot 36」モードを含めた「SSTV」のアップデート (更新)。
 - ・「ICOM IC-R9500」と「Elecraft K3」のサポートのアップデート (更新)。
- * 「3つの問題点」の固定：
 - ・「FT-450, FT-950, FT-2000 デモモード」での。
 - ・「Elecraft's K31」(エレクラフト) モードに「K3 サポート」を残すこと。
 - ・「SSTV 水平同期オフセット」の固定。
- ・10月6日にスタート：私が「全てのローテーターのサポートに追加できる新しい「ローテータープログラム」

October 5th, 2008 - Build 1988 (08:23:14)

- * この「ベータ (バージョン)」にふくまれたもの：
 - ・新しい人工衛星追跡プログラムの「3 回目の技術プレビュー」。
 - ・「ロボット 36」を含めた SSTV のアップデート (更新)。
 - ・「アイコム IC - R9500」と「エレクラフト Elecraft K3」のサポートをアップデート。
- * 問題点の固定：
 - ・SSTV のバグ：ここで、修正したのは、SSTV 水平同期のバグです。
 - ・更に、LP-Pan での問題 (N8LP からの) を解決するため、「試行」の中で、「K3」サポートをアップデートします。
 - ・同調するまでお待ちください！
- ・10月6日 月曜日にスタートします。
私が「全てのローテーターのサポートに追加できる、新しい「ローテータープログラム」

(参考):

- ・HRD：
 - * 「ユーザーガイド」は、「V. 40」で「September 9 2008」(更新)です。
- ・「リリースノート」
 - * 2008年10月5日 (1989)
 - ・(変更): K3 サポートで、K3 モードに時刻と FW を加えて残しました。
コマンドは、「K30」・「FW」・「K31」として送られます。
 - ・(固定): 現在では、「同調周波数」を調節するとき、「FT-450, FT-950, FT-2000, dem-o-matic (デモマチック)」ラジオは正確に働きます。
 - * 2008年10月4日 (1988)
 - ・(追加): 「IC-R9500」のサポートを追加しました。
 - ・(変更): 「K3」サポートを「拡大/改良」して変更しました。

* 2008年9月15日

- ・(変更): 「ボタンとスライダー状況」を読むとき、「人工衛星追跡」で「ラジオとの通信が中断することがない」ように、「外部プログラム」からの「周波数変更」をするための「内部タイミングループ論理」を「再加工」しました。

* 2008年9月8日

- ・(追加): ・「ローテーター」
接続されたとき、「現在のローテーターの位置」が、「2秒ごと」に「更新」されるようになっています。
- ・(変更): ・「ローテーター」
「世界地図の画面」の縦横比が2:1に制限されます。
そして、「できる限りの最高の画質」を使って描写されます。
- 「Stretch Blt Mode (ハーフトーン)」の設定。
- ・(追加): ・「ローテーター」
「頭上通過」のためのサポート。
「Alfa SPID マニュアル」から。
「あなたがリセットした位置から - 「頭上通過」の時計回りにさらに180度を加えた360度時計回り」と同じように、「頭上通過」で追加された180度の「反時計回り」に回転できます」

・DM780 :

- * 「ユーザーガイド」は、「V. 40」で「May 30 2008」です。

・リリースノート

* 2008年9月26日

- ・(変更): SSTV ユーザーインターフェイスの「整理・更新」
- 「ツールバー」・「タブ」・「Aim」の「見た目の乱雑さ」を除くために。
- ・(変更): 「ドネーション」(しつこく言う)を「削除」しました。
「メイン・ツールバー」(エリア)に「Donate」ボタンとして「置き換え」。
(「HRD Satellite Tracking」と同じデザインで)
- ・(変更): 「PTT」スピードの改善。
- ・(変更): 「受信ウインドウ」の「シングルクリック」で「コンテストメニュー」を表示。
以前は、「ダブルクリック」が必要でした。
- ・(変更): 「モード・マネージャー」のために、「Enable (有効)」選択を追加。
この新しい選択は、「ツールバー」から「全ての選択されたモード」を、簡単に「表示/隠す」方法です。
- ・(変更): 「同調ガイドライン」が「2つに分離」されたため、「ウォーターフォール」の選択を変更しました。
(1) 「チャンネルのためのガイドライン」を表示する。
(2) 「マウスのためのガイドライン」を表示する。
- ・(固定): 「ウォーターフォール」が「正しい幅でガイドラインが表示されない」いくつかの状況で、「チャンネル位置」がとても左にあったとき、「チャンネルバーが表示されない」ことがあったのを修正しました。
- ・(変更): 「ログブック・レイアウト」ウインドウが「リサイズ」できます。
- ・(固定): 「CQ WW RTTY」のための「Cabrillo」移出を「固定」しました。
「受信された情報」が「不正確」でした。

- ・(追加): 新しい「タグ ; his」:
「ALE ログブック」ウインドウの「Name」枠から、「ファーストネーム」に戻す「firstname」を追加しました。
もし「Fred Blog」として名前を登録したら「Fred」に戻されます。
他のものでも据えて「最初のテキスト文字列」に戻されます。
- ・(変更): 「SSTV」の「自動スラント」は「3つの状態」になりました。
「画像の受信中」に、「手動でスラント調整」をすると、
「現在の画像が完了する」まで「auto slant : 自動スラント」は「無効」にされます。
これは「autoslant」が、「今後の全て画像のために使用可能である」ことを保証しており、「現在の画像の手動調整」を許しているからです。

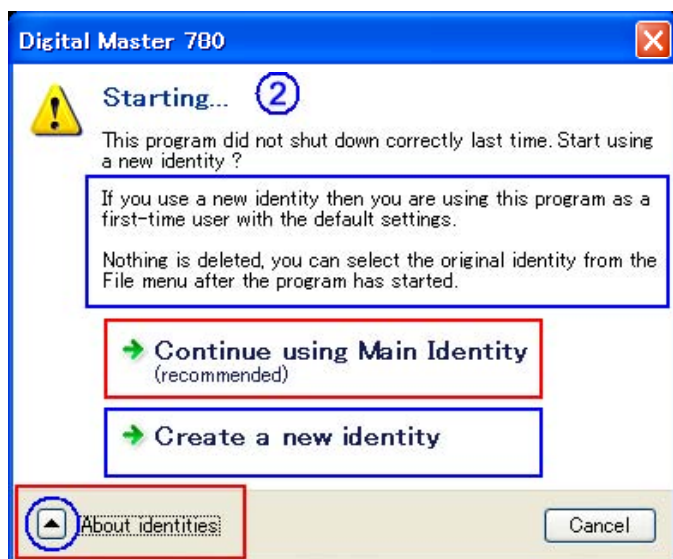
* 「警告」について :

- ・「HRD」から、「DM780」ボタンで起動したとき、「表示」されることがある。

(1)



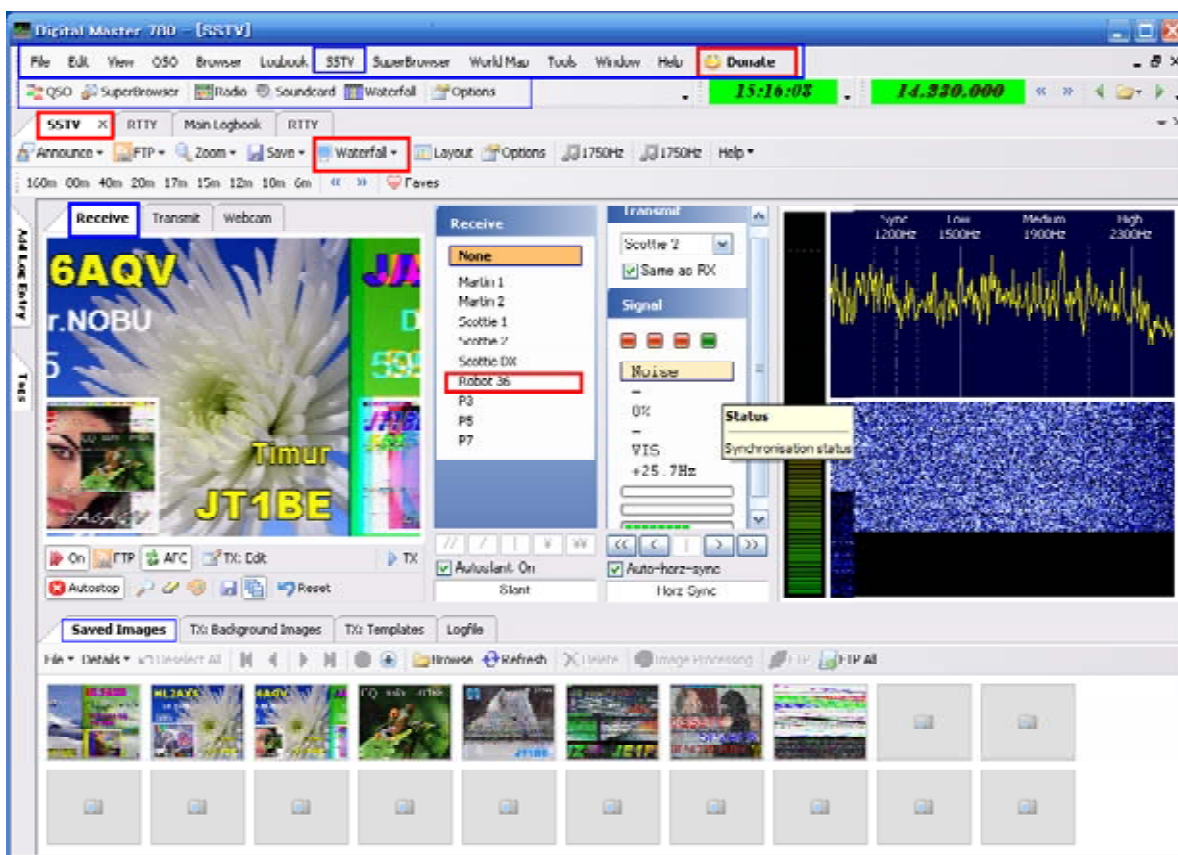
(2)



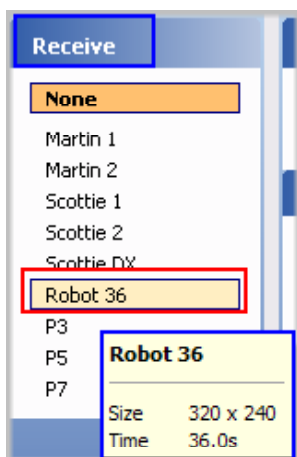
- ・もし、「Create a new identity」で、「新しい identity」を使うときは、「デフォルト設定」で「最初のユーザー」としてこのプログラムを使います。
- ・「何も検出できなかった」
プログラムが起動された後、「Files : ファイル」(メニュー)から「オリジナルの identity」を「選択」できます。

* 「Digital Master 780」での「SSTV・受信」画面。

- ・「メニュー」(エリア)に「Donate:ドーナート」ボタンを追加。
- ・「Robot 36」モードを追加。

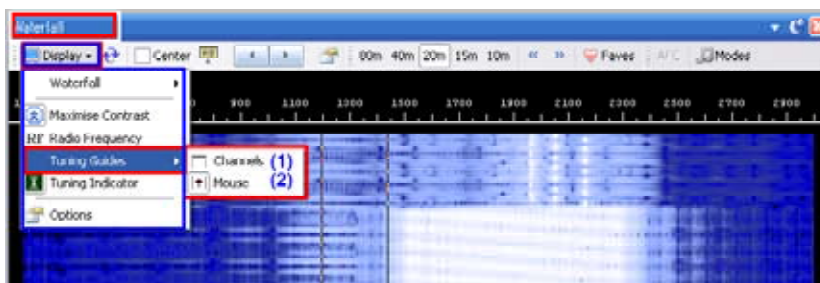


* 「SSTV」に「Robot 36」モードの追加。



* 「ウォーターフォール」の「ガイドラインの分離」

- ・「Water fall」「Display」「Tuning Guide」
- 「Channels (1)」「Mouse (2)」



・以上 「build 1988 , 1989」

(07/OCT/2008 JA6AQV)

* 「[Ham Radio Deluxe の HP](#)」

<http://www.ham-radio-deluxe.com/Home/tabid/36/Default.aspx>

<http://www.ham-radio-deluxe.com/>

・「プログラムのダウンロード」でおなじみの画面ですが、



「メニュー」(左から右へ)

- ・「ホーム」
- ・「プログラム」
- ・「ダウンロード」
- ・「ニュース」
- ・「SSTV」
- ・「DX クラスタ」
- ・「サポート」
- ・「スポンサー」
- ・「ユーザー・ギャラリー」

* 「マウスヘッド」を「移動・停留」することで、それぞれの「内容のリスト」(メニュー)が表示されます。

「リスト」から「項目を選択」して、「概要や最新情報」が得られます。



(例: 「[PSK31 Deluxe](#)」のその後の情報、その他の情報を検索しました)

* 「[PSK31 Deluxe](#)」について。

- ・「PSK31 Deluxe」は、初心者とパワーユーザのための「PSK31 と PSK63」のプログラムです。
- ・これは、「Digital Master 780」に「置き換えられ」ました。
- ・そして現在では、「旧式なプロダクト」です。
- ・それで、どうか「Digital Master 780」を使ってください。
- ・「PSK31 Deluxe の最後のバージョン」は、「HRD 4.0 SP4 kit」に「搭載」されました。

* 「[サポートしているラジオ](#)」について。

- ・「[Ham Radio Deluxe がサポートしているラジオ](#)」は：
Elecraft (エレクラフト) : K2, K3

Flex Radio (フレックス・ラジオ) : SDR-1000, SDR-5000

ICOM (アイコム) :

IC-7000, IC-703, IC-706, IC-706MkII, IC-706MkIIG, IC-707, IC-718, IC-725, IC-726, IC-728, IC-729, IC-735, IC-736, IC-737, IC-738, IC-7400, IC-746, IC-746Pro, IC-751A, IC-751A (Piexx), IC-756, IC-756Pro, IC-756ProII, IC-756ProIII, IC-761, IC-765, IC-7700, IC-775DSP, IC-7800, IC-781, IC-821H, IC-910H, IC-R10, IC-R20, IC-R7000, IC-R75, IC-R8500, IC-R9000, PCR-1000

Kenwood (ケンウッド) :

R-5000, TS-140S, TS-2000, TS-440S, TS-450S, TS-480, TS-50S, TS-570, TS-60S, TS-680S, TS-690S, TS-790, TS-850, TS-870, TS-940S, TS-950, TS-B2000

Ten-Tec (テン・テック) :

Argonaut, Jupiter, OMNI VII (Radio), OMNI VII (Remote), Orion, RX-350

Yaesu (ヤエス) :

FT-100, FT-1000D, FT-1000MP MkV, FT-600, FT-817, FT-840, FT-847, FT-857, FT-890, FT-897, FT-900, FT-920, FT-990, FT-2000, FT-450, FT-950, FTDX-9000

* 「**プログラム**」について。

・(バックグラウンド)

「HRD の最初のバージョン」は、「ログブック」は全くサポートしていませんでした。

- 「オリジナルの考え」は、一般的に利用できる「ラジオのコンピュータ・コントロール」を提供した「簡単なプログラム」でした。

多くの「HRD」ユーザーの要請によって、「統合化されたログブック」が2004年に加えられました。2008年半ばの現在、「ログブックを再考」して、「将来の必要を満たすための問題解決をする設計」の時期です。

・(スケジュール)

2008年の「第四半期」中に「開発」して、

2009年の1月1日に「試験的な公開ベータ」を。

お待ちください！(乞うご期待！)

・「**Proposal : 提案**」

HRD の将来は、「**TCP/IP を使った相互に連結されたプログラムの組み合わせ**」です :

HRD ユーザーが、もっと多くの「コンピュータのパワー」を利用できるようにします。

- 「**2つ以上のシステムでのネットワーク**」は、非常に普通になっています。

そして、構成の設定も容易になっています。

「リモートコントロール局の運用」は、「ハードウェア」が「要求によって安価になった」ようにますます増加しています。

「ログブック」は、元来、「免許された当事者局の必要条件を満たす書類」でした。

・現在は、「**フル機能のログブックをサポート**」しています :

例えば、

多数のデータベースが、同時に、開かれます。

「RTTY コンテスト 2007」

「マン 2005 Isle のための DX エクスペディション」

「Himalayas (ヒマラヤ) 2008 のポータブル運用」

・「**自動バックアップ**」:

例えば、

- 多数のデータベースのための「新しい登録」の追加。
 - 「ハードドライブ」
 - 「USB メモリーステック」
- 全ての言語と文字セットのための「UNICODE」のサポート。
 - タイプできて、データベースに保存できる。

・「**ネットワーク**」:

- 異なるコンピューターでの「ログブックの起動が可能」に。
 - 「HRD / DM780 / サードパーティプログラム」で、「簡単な TCP/IP 論理」を使つての「新しい登録」の送信ができる。

・「**保存と送出**」

- 「ハードディスク失敗」の場合に、付加されたセキュリティのために、他の場所で起動している「ログブック」に、「ローカルログブック」に登録し送り込みもセーブする。
 - ODBC (Access, MySQL, SQL Server Express) と ADO 接続列を経由した「データベース」のアクセス。
 - 標準のログブック形式に「登録の印刷」。
 - 「アドレス」と QSL ラベルの印刷。
 - 「eQSL.cc・LOTW」の更新と同期化。
 - 「DXkeeper」と「N1MM」のような「共通なログブックプログラム」へのインターフェイス。
 - 「Web」インターフェイス。
 - 「ユーザー定義可能な ALE タブ」の整頓。
 - 「アワード」検索。
 - 「IOTA」検索。
- など

・「**移入/移出 (読み込み/転送) の使用**」:

- 「ADIF」
- 「Cabrillo」
- 「XML (Word, Excel, Web, ...などへの転送)」

・「**保存**」:

- 「QSO」
- 「SWL レポート」
- 「画像 (QSL カード、SSTV 画像)」
- 「オーディオ・トラック」

・「**コールサイン検索のためのインターフェイス**」:

- 「QRZ.com」
- 「Hamcall CD」 など

- ・「**sh5 ログ分析プログラムに類似した分析ディスプレイ**」は、
<http://rescab.nm.ru/> から。

* 「**Simple Configuration** : 簡単な構成」

この例では、「HRD と DM780」は、「同じログブック」を使っています。

「ログブック」は、あなたの「ネットワーク上」で「HRD と DM780 と同じコンピューター」あるいは「他のコンピューター」のどこかにあります。

これは最も基本的な構成です。

運用は、まったくわかりやすいです。

- ・「ログブックは3つのデータベース」を使っています：
 - 「Current : 現在」 - 「read/write (リード/ライト)」
新しい登録は、このデータベースに加えられます。
 - 「RTTY 2007」 - 「read only (リードのみ)」
このコンテストで、あなたの「record-breaking 登録」からです。
 - 「CQ WW 2006」 - 「read only (リードのみ)」
全ての QSO は、このコンテストからです。

- ・「コンテストデータベース」は、「情報として見えているコールサイン」を供給するためにロードされます。 - 最後に作動した「日付」・「名前」・「アドレス」など「他の誰かからのデータベース」を「ロード」することもできました！

* 「Advanced Configuration : 高度な構成」

- ・これは「特定のマルチユーザのシナリオ (概要)」です。
- ・Bill (GD4ELI) と Ben (HB9DRV) は、休暇には、「ラジオコントロールとロギング」のために、彼らの「ラップトップ」を「エキゾチックな場所」に持ち込んで行きます。それぞれの「ラップトップ」は、地域 (ローカル) 的な QSO を保存して、どこかの場所にある「安定した設備の中央サーバー」へ「QSO を転送する」ため、「store-and-forward : 保存と転送」機能 (選択) を使って「返送」します。
- ・「中央サーバー」は、「2つのデータベース」をアップデート (更新) します。
 - 「C:¥Data¥Database.mdb」
: 「ディスク・ドライブ」に位置していて、「read-write : リードライト」アクセスを持ちます。
 - 「Z:¥Data¥Backup-2008.mdb」
: 「USB メモリースティック」に位置していて、あたらしく、修正された登録だけがこの「データ・ベース」に加えられます。
- ・追加では、「Old QSO's 2000」から「2008 データベースへ」で、「名前」と「アドレス」検索が使われます。
- ・「休暇アイランド (島) から安定したサーバーへ」のネットワーク接続のときは、「安定サーバー」へのアクセスはできず「無効になり」ます。「ネットワークが修復される」とき、「安定サーバーのデータベース」は、ネットワークが「無効中」にコンタクトして「アップデート」がされます。

たとえ、航空会社が、「フライトの全ての QSO」を送り返しているときに「我々の二人の友達のラップトップ」が失われたとしても、「ハードディスクと USB メモリースティック」の両方で「中央サーバー」は「安全に保存」されます。

- * その他「非常に多数の情報」を得ることができます。

- * 「SSTV」(メニュー) では、「EasyPal での DigiSites」のように、「登録局のサイトの受信画像 (アナログ・デジタル)」を見ることができます。「G0HWC の SSTV サイト」が「おすすめサイト」です。「JA の SSTV 局との交信画像」もアップロードされています。